

平成27年度

福工大ビオトープ・自然観察会

ビオトープ研究会

(福岡工業大学社会環境学部)

平成28年3月

報告書作成者

平嶋 陽真	社会環境学部 (3年)	会長
栗原 優太	社会環境学部 (2年)	副会長
畦津 匡貴	社会環境学部 (4年)	
後川 拓実	社会環境学部 (4年)	
遠藤 鼓子	社会環境学部 (4年)	
川野 真平	社会環境学部 (4年)	
齊藤 優香	社会環境学部 (4年)	
坂井 野土香	社会環境学部 (4年)	
高木 慎也	社会環境学部 (4年)	
檜崎 直樹	社会環境学部 (4年)	
野口 真未	社会環境学部 (4年)	
江原 將博	社会環境学部 (3年)	
菊池 佳奈	社会環境学部 (3年)	
田中 倫恵	社会環境学部 (3年)	
松木 靖雄	社会環境学部 (3年)	
黒木 厚佑	生命環境学部 (3年)	
石橋 隆	社会環境学部 (2年)	
今泉 加那恵	社会環境学部 (2年)	
江口 恵太郎	社会環境学部 (2年)	
杉本 涼介	社会環境学部 (2年)	
栗原 優太	社会環境学部 (2年)	
岡山 匠	生命環境学部 (2年)	
上野 由里代	社会環境学部 (1年)	
萱野 恭平	社会環境学部 (1年)	
栗田 航平	社会環境学部 (1年)	
千原 佳晃	社会環境学部 (1年)	
樋口 拓樹	社会環境学部 (1年)	
山崎 貴光	社会環境学部 (1年)	
坂井 宏光	教授 (社会環境学部)	

目次

2015年	4月29日(水)	第36回自然観察会・・・	p.3
2015年	7月4日(土)	第37回自然観察会・・・	p.16
2015年	10月17日(土)	第38回自然観察会・・・	p.29
2015年	12月5日(土)	第39回自然観察会・・・	p.38

第36回福工大ビオトープと里山自然観察会のお知らせ

※福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

- 福工大ビオトープと里山の自然観察会とヨモギのお菓子作りなどを行います。春のビオトープや里山の若葉などを一緒に楽しみませんか？

対象

- 地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます) 学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

- 日程: 4月29日(水・昭和の日) 9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物)



参加申し込み

- 事前のお申し込みは必要ございません。どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

- 当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

お問い合わせ

- 福岡工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.: 092-606-6186
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2015年4月29日（水曜日）

【第36回自然観察会】

テーマ：春に身近で食べられるこんな野草

めあて：味覚で春を感じよう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール

時間 9:30～12:00

大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者 57名

自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 ((有)クラバード)

【活動内容】

8:30 研究室集合
9:30～9:50 挨拶
9:50～10:30 収集・観察
9:50～11:50 調理、食事、まとめ
11:50～ レポート
観察終了後 研究室で反省会。



第36回自然観察会

2015年4月29日（水曜日）

【学生】

A

本日の自然観察会ではよもぎやタンポポがありました。ビオトープには虫はチョウ（モンシロチョウ、クロアゲハなど）がいまいした。カメムシやアシナガバチもいました。ヨモギはケガをしたときの血をとめる効果や、キャンプなどヨモギを焼いて虫よけの効果があるそうです。クズは天ぷらにでき、タンポポは根はきんぴら、葉はサラダにしてもおいしいそうです。白玉は、ヨモギが少し苦く苦手な味でした。今回はヨモギや虫を観察できて春を感じられたと思います。

B

自然観察会も3年目になりましたが毎回毎回、色々な生物や植物を観察することができてとても楽しいです。今年度も休まずに参加したいと思います。

C

今日は、ビオトープに行き、よもぎを回収し、そのよもぎを使って白玉とホットケーキを作りました。活動に積極的に参加できてよかったです。

D

天気が良くて良かった。

以前に来た時より草花が成長していた。

たんぽぽの根っこはきんぴらに、葉はサラダに入れることが出来ると聞き驚いた。

実際に食べてみてとてもおいしかった。次の季節の自然観察会にも参加したい。

E

去年もヨモギを探し、ヨモギの特徴を大体つかんでいたのが今までよりも見つけるのが早くなった気がする。春にはトンボもたくさん飛んでいてとてもいい季節だと感じた。ビオトープの周りには、草イチゴの赤もはえていて、綺麗な色合いだった。タンポポは種を作るときに茎を一生懸命伸ばすそうで、少しでも遠くに種を飛ばすための作戦だそうだ。命を継げる大切さも学んだと思う。ヨモギ団子を自分でまるめて食べるとちょっとにがみもあったが「これが春の味か」という感じがして味覚で季節を感じるのはステキだと思う。

F

今日の自然観察会では、春に身近で食べれるこんな野草というテーマで行われました。春の野草を味わい、味覚を感じるよということので普段の観察会より楽しかったです。

まず、ビオトープにて野草の収集を行いました。観察しながらヨモギをとることができ、専門家の先生方にもいろいろと教えてもらってとても興味深いことがたくさんありました。ヨモギは子どもの頃にとってよくありつづけていたが、実査に食べることはあまりないのでよい体験が出来たと思います。でも手がヨモギのニオイがして気分になりました。まずは、視覚と嗅覚と触覚で春を感じれました。

次に実際に自分達でとったヨモギを軽く下ごしらえして、調理しました。かんたんに作ることができ、とても意外でした。

ヨモギだんごはとても強くヨモギを感じる事が出来ました。ホーレンソウなどの普通の野菜とあまりかわらないことが意外でした。

ついでにあんこもおいしかったのでとてもまんぞくできました。

ホットケーキは、少し苦い味が加わっていました。これはハチミツとバターをかけてたべましたが、それなしでも風味をか???????

今回の自然観察会では、たくさんの方が3kすいていて年々増えているイメージがあり福工大のビオトープも有名になっていくのではないかと思います。

他にも鳥の名前などや他に食べられる野草、実際に専門家の方々が食べたことのある野草なども教えて頂いて楽しく勉強をすることができました。

春の味覚を味わうことでクズやヨモギを食べて実際に感じる事が出来ました。

こんごもビオトープの観察会はとても楽しみにになりました。

G

春夏を感じさせる生き物がたくさんいました。トンボが飛んでいたり、ヤゴの抜けがらがあったり、夏鳥のキビタキが鳴いていたりしました。

ヨモギ採取も地域の子もたちと一緒に楽しく出来ました。アカメガシワというカシワの仲間です。最初だけ赤い色をした芽が出る葉をルーペで観察しました。とてもキメ細やかで鮮やかな赤い色をしていました。また緑になった葉には、くきの近くにアリが蜜を吸った跡がありました。

ヨモギもちとヨモギの入ったホットケーキを食べました。

みんなで協力して楽しく作り、味も生のちゃんとした(?)ヨモギを食べられたので良かったです。美味しかったです。

H

前回観察した植物が赤い実をつけていたり、ヤゴの抜け殻があったりと、前回とはまた違った自然の様子を見る事が出来ました。

また昔から知っていた野草の正式名称をすることができ、新しい発見がありました。ヨモギで作ったホットケーキ、団子は久しぶりにヨモギを食べたこともあってとても懐かしい感じがしました。今度はぜひ一から自分で作ってみたいと思います。

I

よもぎの味は変わらず山の味だった。ホットケーキはよもぎとマッチした。白玉とよもぎはよもぎが少しからかった。

J

前回のビオトープを訪れた時よりも草木が成長していた。トンボも数が増えていた。タンポポがたくさん咲いていた。根はとても長く美味しいらしい。ヨモギは独特の匂いがした。ビオ研の皆さんが作って下さったパンケーキと団子は美味しかったです。ヨモギの風味がよく感じられた。

K

ヨモギを料理に入れたことがなかったので、どんな味がするのかなぁと思って食べたら、香が口に広がってホットケーキがいつそうおいしく感じられました。ヨモギ団子は、口の中が少しさわやかになって食べやすかったです。アンコと一緒に食べたらもっと食べたくなりました。

L

ヨモギの葉は裏が白いやつ！！ヌルデは手でさわるとかぶれてきけん。野イチゴの実はふつうのイチゴとちがってすっぱさがなくて甘い

M

ヨモギの特徴

少し独特なかおりがする

葉の裏は少し白く、毛みたいなものがある。ヨモギが入ったホットケーキは、少しだけヨモギの味がしとてもおいしかった！夏の観察会では虫をたくさんみつけよく観察したい。

N

ヨモギをもんだらとても臭かった。

山の中には色んな草があり触ってはいけないものなどがたくさんあり怖いなと思いました。クマバチが飛んできて危なかった。

O

今日の自然観察会を通して意外にも身の回りに食べれる草がたくさんあることに驚きました。クサイチゴや酸味のあるスイバや先のほうを天ぷらにして食べれるクズやおひたしなどにして食べれるハコベやタンポポの根などがあると教えてもらいました。実際にヨモギもちやヨモギのホットケーキを食べたらおいしかったです。いつか食べ物に困ったときは山などに行ってこれらの草をとって食べたいなあと思いました。

P

野イチゴはふつうのいちごより甘く砂糖も少なくイチゴジャムを作れる。
よもぎは葉の裏が白く、ぐしゃっとすると匂いが強くなる。
手でさわると手がかぶれる葉がある。

Q

本日の自然観察会に参加してみて普段あまり気にかけないことない野草を観察しました。良く見てみると意外と野草にも種類がありびっくりしました。先輩方が詳しく教えてくれたのでとても分かりやすかったです。手がかぶれる草など知らなかったら知る事がなかったと思います。大変、有意義な時間でした。また、ヨモギを食べてみて春を感じる事ができました。おいしかったです。

R

ヨモギやカラスノエンドウを摘んだのは数年ぶりだったので改めて新鮮な気持ちになりました。また、日が経って、様々な生物を見つけることができ、季節の流れを感じる事ができました。秋にも同じようなことが出来たらいいなと思いました。

S

今日の観察会ではヨモギの採集を主に行いました。ヨモギはいろいろなことに使うことが出来て一年中使える植物として知られています。今回はヨモギを団子に練りこんだり、ホットケーキに乗せたり、料理に使いました。ヨモギの採取の時にヨモギを下の方から取ると、上の新芽の方だけを取らないとうまくすりつぶせないことを初めて知りました。

T

たくさんの葉をみて、ビオトープ研究会の方が親切にこの葉は食べれる食べれないなど分かりやすく説明してくれました。日本には野菜がないことや、食べれる葉か食べれない葉の判断の仕方も教わり、興味深い説明をいただきました。10年の間に素晴らしい自然の姿に戻っておりヤゴやその他たくさんの生物が住んでいた。自然にかかわることはそんなにあることではないのでとてもいい機会になった。その後、採った野草のホットケーキやだんごを食べたが苦みもあったがとてもおいしく食べれた。

U

ヨモギについての知識をたくさん知ることが出来た。ヨモギを摘むとき、根の近くからつんだほうが良いと思っていましたが、坂井先生に「ヨモギは新芽ややわらかいところが美味しいから、上の方だけをつむんだよ。」と教えて頂きました。植物を見分けるのは難しく、今まであまり勉強をしたことがありませんでしたが、今日ヨモギを見分けられるようになったことにより、「植物も見分けられると楽しい！！もっと他の植物も知りたい！！」と思いました。ヨモギ入りホットケーキも、ヨモギの風味がほんのりし、あんこも合っていてとても美味しかったです。ヨモギ団子は残念ながら食べられませんでした。来年食べられたらいいなと思いました。西藤さんとお話した時「去年の響灘ビオトープでのベッコウトンボ調査でお会いしていた。」とわかり、おどろきでした。魚部のことも知って下さっていて嬉しかったです。春になり生きものもたくさん出てきました。今回の自然観察会では、アオ（クロ？）スジギンヤンマ、アカトンボ、ケシカタビロアメンボ、セミ類の虫、ちょう類、ハチなど多くの種類が確認できました。子供たちもとても熱心に自然観察会やヨモギ採りをしていました。今日の観察会、とても楽しかったです。春を味わう事ができました。

V

普段あんまり食べないので意外と美味しかったです。すり潰したやつを混ぜていたホットケーキの方がよもぎの香りも味も強かったです。ちょっとクセがあったけどおいしかったし良い体験になりました。

W

初めての自然観察会ということですのでごく楽しみでした。実際、よもぎ採りもビオトープの自然観察も楽しかったです。小さい子供たちが「これなに？」と聞いてくれるのに、答えられず専門家の方に聞くことが多くもっと知識をつけたいと改めて思いました。ビオトープ自体は前回とあまり変わっておらず、次の変化が大変印象的でした。次の観察会も楽しみです。

X

初めて参加したのですが、とても楽しかったです。今日は雨が降ると予報されていたので心配していたのですが、良く晴れてよかったです。2週間前にビオトープで観察した時は花だったカラスノエンドウやノイチゴが実になっていました。ヨモギもよく見渡すとたくさんあって驚きました。春になって生物がたくさん増えてきていました。最近は暑い日が増えてきて、夏の生き物も観察していきたいと思います。

Y

今日は初めてだったけど、野草について勉強して、ヨモギなど、身近なものをあらためて観察する場を経験してとても良かった。

ビオトープを今回初めて見て、大学生の先輩方が作ったという話をきいてとてもすごいなと思った。自然観察会という行事に初めて参加し、いろいろなことをして興味、楽しかった。ホットケーキとても楽しかった。

Z

とても色々な植物や虫いて、3年生の先輩が分かりやすく説明してくださったのでとても良い勉強になりました。そこら辺はえている葉っぱでもたくさんの種類があり、その中でも食べる事のできるものもあることにとても驚きました。春夏秋冬しているとのことなので、たのしみです。

タンポポが食べられるという事ははじめてしりました。

根っこまで食べられるとかびっくりです。

よもぎの風味のあるホットケーキは春を感じる味でした。おいしかったです。

AA

今日は、初めての自然観察会でよもぎを収集しました。

よもぎの葉、他にも似たような葉があるのでみわけることがわかりました。

よもぎは、においがつよいことがわかりました。

日本には、野菜がないことは、びっくりしました。日本は昔から野菜を食べていたいことも知りました。

AB

<よもぎ>

・独特な香りがする・裏に白い柔らかい物がある。・油で揚げるとおいしい・よもぎ団子もいとおかし

AC

自然観察会でビオトープに行ってみて前回とより植物の種類や様子は変わっていなかったが、トンボのぬけがらの数が増えており様々な種類のトンボを観察することが出来た。ヨモギの葉をとって見て、ヨモギの葉のやわらさが感じられた。よもぎを採っている時にしゃがんでとっていた時に見えるビオトープの風景と立って眺めるビオトープの風景は違って面白かった。また専門家の方に赤芽がしわなどの新芽の葉が赤いのはし外線よけのためだと聞いて、植物のすごさがわかった。

今回はヨモギで、パンケーキとだんごを調理したが、他にも色々な料理に使用できると思うので、家に帰って調べてみたいと思う。

AD

前回ビオトープ活動に参加したときより、草や花が伸びていた。トンボも数種類とんでいてぬけがらもありました。藻類が浮かんでいたのも、初めて知りました。ヨモギがたくさん生えていて、身近に生えている植物が食べれるので、また、街で見かけたらとって食べたいです。苦みがあったけど、意外とクセになりそうです。美味しかったです。

AE

自分は坂井宏光ゼミの関係でほとんど毎年参加しているが今回まだビオトープ研究会のメンバーがなれていなかったのか分からないが誘導や指示が万全だったとは言いづらいつつ思った。

AF

今日はタンポポに関する知識をえることができた。タンポポは花のときは低い高さで咲かせるが種を作るためにしぼんでいる間に茎の長さが成長し種をより遠くへ飛ばすために高いところから綿毛をとばす作戦をとっている。

又、たんぽぽの茎はきんぴらにするとおいしい。葉っぱの部分や花の部分も食べれてグリサラダに入れることができる。

AG

ヨモギの役割を知ることができた。沖縄では今でも食卓に並べられているということを知ったヨモギの裏の毛は治療にも役立つということができた。クサイチゴ、クズ、ピーピーマメ、ハコベなどが食べることができるということを知った。ピーピーマメはサヤのでき始めは食べる事が出来るという事も知った。

AH

分かったことは、日本には野菜がなくて、じゃがいもやトマトなどの野菜はアンデス産だったことが分かりました。初めてだったのでどのように観察すればいいか分かりませんでした。よもぎなどは食べられることは分かりましたが、詳しいは分かりませんでした。

AI

本日、ビオトープに初めて入った。野草に関しては、何の知識が無かったため、何が食べられたり、何が危険なのか分からなかった。ただよく家の近所で見たことがある草がヨモギでよもぎ餅としてよく食べていたと分かり、身近な野草でも食べられることができるのかと感心した。

また、ビオトープは色々な生物がいて楽しかった。一番発見できた種類はクモだった。クモによって巣の作り方が違っていた。どの巣が一番初率よく獲物がとれるのか調べてみたくなった。

A J

ビオトープにて、多くのトンボを観察することが出来た。

以外と多くのヨモギを取る事ができた。

ヨモギは家の近所にもたくさん生えていて、この前、草餅を作った。その時はよくできてたの、今回も期待したいです。その他にも、ビオトープには、たんぼぼのやくズなどの、食べられる野草がたくさんあった、都市開発が進んだ現代でもまだまだ多くの野草が残っている事に感動した。

ヨモギでホットケーキはや餅を作り、みんな楽しそうだった。

この語はもう少し、道端の野草などに注意をして町を歩いてみたいと思います。

今度は、ヨモギだけではなく、もっと多くの種類の野草を調理してみてもおもしろいかもしれない、またホットケーキや餅も良かったが、野草の天ぷらも食べてみたいと思った。

AK

食べれる植物について知ることが出来た。ヨモギモチもホットケーキもおいしかった。

自分の実家でもタケノコやミツバをこの時期よく食べていたのでまた食べたくなった。しかしヨモギが生えているあたりはアブラムシがそこそこいたので注意する必要があると思った。

AL

今日はビオトープで春に食べられる野草（ヨモギ）を収穫しました。昨年よりヨモギの量が少なく感じたような気がします。今日は気温が高く、日差しも良かったため、蜂や蝶々とんぼなど、たくさんの虫を目にすることができました。専門の方のお話でクズやカラスノエンドウなどは、やわらかいうちであれば食べることができると知りました。

観察会後半は、昨年同様、ホットケーキと白玉団子にヨモギを混ぜ、調理して食べました。ヨモギの苦さがあつたけれど、はちみつやあんこと一緒に食べると、苦さが少しやわらぎ、とてもおいしく食べる事ができました。

AM

前回の自然観察会では、虫や動物に小手を置いてましたが、今回は植物を主に勉強することができました。どこにでもあるような草が食べ物になったりと、様々な方法で活用されていることを知りました。特に、ヒメガマという池の中に生えている草がダンボールのようになっていたことは驚きました。葉をはがして中の繊維をみるとダンボールと同じような構造をしていて、実際に触れてみても似た感触がしました。ヨモギ集めは、ところどころに点在しているものや、密集しているものとさまざまな生え方をしていました。ヨモギは食べれるぐらいの知識しかなかったのですが、専門家の方々に話を聞き、実際に食べてみる事でさらに深く知ることができ、また春を感じる事ができました。

AO

昨年よりも来られた方が多く、ヨモギを使った食べ物という事でビオ研メンバー同、準備から大変でしたが、無事に終わり良かったのではないかと思います。

また、撮影の方も、色々な場の風景や人を撮影でき勝手に自己満足しています。本日も、貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。

AP

今日はビオトープにある食べられる植物について勉強しました。

今回はヨモギの葉を使ってホットケーキと白玉団子を作りました。

普段スーパーのお菓子コーナーに置いてある蓬餅などヨモギを使った商品は多いですが、ヨモギの葉と言ってヨモギの葉を見つけられる人はあまりいません。

ヨモギを見つけられるようになったので、今日はそれだけでも大きなものを得ることが出来たと思います。

AQ

今日は5回目の観察会で初めて運営する立場で動きましたが、正直言ってあまりうまく動いていなかったのが自戒する時はもっとうまく動けるように努力しようと思いました。今回白玉やホットケーキが結構余ったので、次回はもっと配れるようにしたいと思いました。

【一般参加者】

AR

坂井先生、ビオトープ研究会の皆様、お世話になりました。心配した天気も快晴で気持ちの良い1日でした。ビオトープ、想像していた以上に素晴らしかったです。昆虫好きの自分としては楽園ですね。見て、触って食べて、一般の方々に自然の素晴らしさ、大切さを感じて頂ける良い会であったと感じております。次回以降も時間の許す限り、参加させて頂きます。本日はありがとうございました。

AS

渋々ついてきた子供たちでしたが、ビオトープに入る時はかなりやる気で、先頭に行ってきました。ビオトープに入るときはかなりやる気で先頭に行っていました。

ビオトープの斜面と登っていたのは長男（小3）です。

食べられる野草には無関心で舌が、虫類には興味を注いで、特にヤゴの抜け殻は、初物であったので、喜んでいました。

ただ、長男には「探検に行く」と言っていたので、ビオトープ内では物足りなかったようです。

夏には夏の虫があるでしょうから、又来たいと思います。

※今度タンポポ食べてみたいと思います。

A T

野草のコト虫のことなどいろいろ学べてよかったです。
子どもも興味津々で自然と遊んで楽しそうでした。

A U (子)

楽しかったです。今日覚えたものアワフキムシ、モンシロチョウ、くつつくはっぱ、カエル、クサイチゴ、タンポポ（わた）、ヤゴ、モチモチでヨモギの味があって、おいしかったです。いつもと違うけどまた作って食べたいです。

A V

ホットなケーキを食べて蓬の香りがし、とてもおいしかったです。

A W

ビオトープ……名前は知っていましたが現状を見たことがなく、今回初めて参加して、楽しかったです。

ビオトープは作っても、その後の維持が大変だと聞いていて……。

今日、穴を掘って防水シートを張り、雨水だけで、枯れずに珠体系が保たれているとお聞きして驚きました。

ガマが繁った時には、かられているようですが……素晴らしいですね。

小さなビオトープでこんなに発見や、気づきがあるんですね。

水たまり、溜池、よどみ……あまりいいイメージがなかったのですが、夏にボウフラや蚊が発生したりして……。

ヤゴがボウフラを食べて、発生を抑制しているのも意外な発見でした。

子どもと一緒に楽しめて楽しかったです。

ありがとうございました。

A X

ビオトープってなんだろう!?!と行って参加しました。

時間を作って眺めることで、いつもと違った自然の見え方となりました。

採取したクズ、ヨモギを今夜天ぷらで食べたいと思います。

A Y

大学の中に、多様な生物を間近で観察できる空間が整っていることに驚きました。ゆっくりと植物を観察する時間を久し振りに取れて、気分転換になり、ヤゴ農家も見れて、子供の頃を思い出しました。食べるという観点から見ると、身近な草にも新たな見方が出来るという事に気づき、良い刺激になりました。

A Z ・ B A ・ B B

(子)

たのしかったー

よもぎとりがたのしかった

普段教えてあげられない野草や野花、虫のことをたくさん教えて頂けて子どもも勉強になりました。セントさんたちもやさしく接してくれたので、また機会があれば参加したいです。

ホットケーキはよもぎを混ぜ込まず、上に乗せることで形もそのままだし味も感じられて真似して作ろうと思いました。

B C <絵>

ありがとうございました

(ハートやトンボ、ヨモギなどかわいらしい絵を描いていただいています)

第37回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ

※福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

- 福工大のビオトープと里山で自然観察や虫取り大会を行います。ぜひ、楽しく、夏の虫たちと触れ合ってみましょう！

対象

- 地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます。)
- 学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程:7月4日(土)9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所:福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物)



参加申し込み

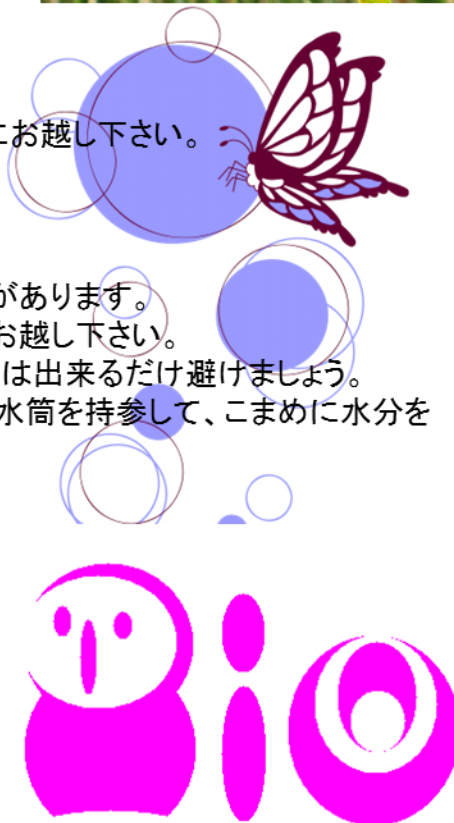
- 事前のお申し込みは必要ございません。どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

- 当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
- 汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
- また、ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。
- 当日は気温が高くなることが予想されます。水筒を持参して、こまめに水分を摂取してください。

お問い合わせ

- 福岡工業大学・社会環境学部
- 坂井 宏光
- Tel.: 092-606-6186
- Fax.: 092-606-6497
- E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2015年7月4日（土曜日）

【第37自然観察会】

テーマ：夏の生き物と触れ合う

めあて：虫取りをしよう！

活動場所 福岡工業大学 A棟1階 A13教室 ビオトープ A棟ホール

時間 9:30～12:00

大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者 43名

自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 小野氏（（有）クラブード）

【活動内容】

9:30～9:45

9:45～9:50

9:50～11:10 A&Bに分かれて観察・昆虫採取

A 9:50～10:25 里山

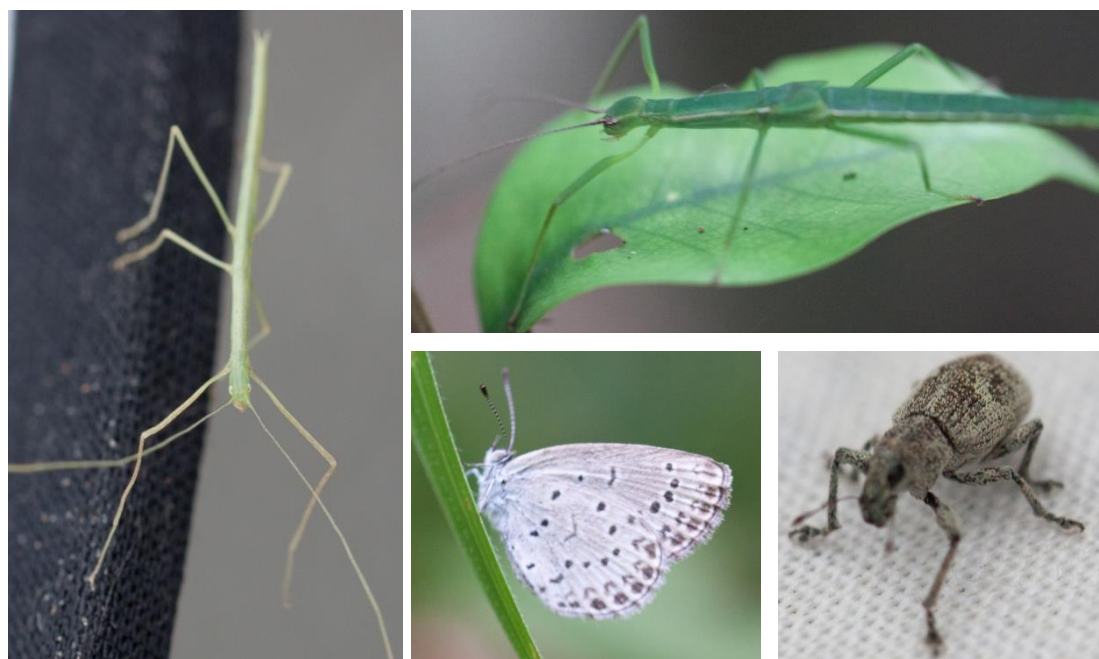
A 10:25～11:00 ビオトープ

B 9:50～10:25 ビオトープ

B 10:25～11:00 ビオトープ

11:10～11:30 まとめ

11:30～12:00 アンケート記入、解散



第 37 回自然観察会

2015 年 7 月 4 日（土曜日）

A

黒アゲハ、ダンゴムシ、バッタ、アリジコク、青スジアゲハ、モンシロチョウ、アリ、クモ、ダンゴ虫様々な虫を発見することができた。

小学生くらいの少年がとても物知りで感心した。

ニイニイゼミの抜け殻を発見するなどよく周りを見ていた。

草木の近くでゆっくりと周りを見るとバッタなど、様々な生物が生息していた。

カゴからバッタが逃げたのが悲しかった。

- ・ 12 種類ものトンボの生息確認
- ・ イシガケチョウはイヌビワを食べる

B

少し雨がふっていたのが残念だった。

しかし、バッタ、アオスジアゲハ、クロアゲハ、いもむし、ありじごくなど、たくさんの昆虫を見る事ができたので良かった。

里中の中のほうも見に行きたかった。

夏に来るしまたたくさんの虫が見れると思うので楽しみです。

観察した後に専門家の方からたくさんのおもしろい話が聞けたのでとても良かった。

C

本日は、生き物を見つけようというテーマで、

ビオトープの夏の生き物とふれあおう！という事で、ビオトープや里山、公園に虫あみで虫カゴを持っていき昆虫を採取しました。

ビオトープでは、トンボや、カゴなどが見られました。

里山では、ナナフシやダンゴムシなどが見られました。

公園には、草むらに、バッタや蝶など見られました。身近な所にたくさんの生き物がいることは決して当たり前ではないので、この生き物のいつ自然を守っていかなければならないと感じました。

D

今回、初めて参加させてもらいました。日頃、自然にふれあう機会にあまりないので貴重な体験をさせていただきました。

自然観察会も第 10 回目という節目でこれからも素晴らしい活動をしてもらいたいです。

E

今日は、ビオトープでたくさのトンボと出会いました。

今までは、全体のフォルムの色が青いトンボがたくさんいたけれど、今回は身体が赤いトンボだったり、黄色と黒のしましま模様のトンボであったり、多様な種類のトンボを観察することができ、とても楽しかったです。

F

虫の種類が多く、あまり詳しくない私でも楽しめたと思いました。虫の観察をして子どもの頃の記憶がよみがえってきました。ビオトープにオニヤンマがいたことに驚きました。

G

今日は、里山に行っている色々な虫を観察しました。

今の時期は多くの虫が活動しておりとてもにぎやかに感じました。

今日はちょうを多く見ました。

観察しているととてもきれいなちょうがいたので、おもわず写メを撮りスケッチしました。

H

たくさん草むらには虫がいて座ってみていると小さいのから大きいので驚きました。蚊もたくさんいて3カ所ほど刺されてとてもかゆかったんですけど良い体験になりました。ありがとうございました。

I

今回の観察会では、動物と植物のきってもきれいな縁を知ることができました。

動物が好む植物も調べようと思います。

J

今回の自然観察会では里山ではイガケの幼虫、バッタ、足の長いクモがいました。ビオトープではカナブンとヤゴと自分の体に子供をのせているクモを見ました。得にビオトープにいたクモは体からクモがうごめいて4, 5匹でいたので気持ち悪かったです。トンボは羽のひらいて止まるトンボと羽をとじて止まるトンボがいることがわかりました。卵を産むときに植物に産むトンボと水の中に産むトンボがいることがわかりました。オニヤンマは今回は虫とり、スケッチをして童心にかえることができたのでよかったです。

K

今回の自然観察会は、生き物を見つけようで池のまわりでは、トンボなどがいて里山では、チョウなどがいました。自分は、最近あまり虫などの生き物を見ていなかったのでも多くの生き物を見れて良かったです。トンボは12種類もいたのではおどろきました。

L

今回の自然観察会に参加して、この時期は様々な生き物がいるのだと思いました。ビオトープの中で、背中に赤ちゃんのクモがたくさんついているクモがいて、とても驚きました。その他にも、公園には、きれいなチョウが飛んでいて、男の子が何度も捕まえようとしていました。また、公園の木の葉っぱの上にチョウの幼虫がいて葉っぱを食べていました。ビオトープには、ヤゴがいたが、トンボが全く飛んでいませんでした。今回の観察会で、一番多かった虫はダンゴムシだと思います。地面にもふつうにいたし、木などを動かしてみると、ほとんどの確立でダンゴムシがいました。また、専門家の話によると、アオモンイトトンボは羽をとじて止まるが、オオアオイトンボは羽をひらいたまま止まることを知り驚きました。次の観察会も参加して様々な生き物を見たいです。

M

森の中は蚊だらけでとても刺されたけどビオトープの中でコガネムシがいたから良かったですフナムシも見れました。

N

コガネムシを発見した

クワガタを探したが、見つけれなかった

人生初めてフナムシを見る事が出来た。次回はちょうちょを見つけない

O

コガネムシを見つけた。ナナフシを見つけたてはじめてさわって木の枝のようだった。アゲハチョウも見つけた。アリが地面にたくさんいて大きさが1cmぐらいで普段見ているアリよりもとても大きかった。

P

この時期になるとセミやチョウなどが増えてきて観察中もアブラゼミなどの声を聞くことができました。これから本格的な夏に入るので、どんな生き物がでてくるのか楽しみです。

Q

今回は里山付近の2つの公園とビオトープに昆虫採集へ行き、その中でたくさんの昆虫を発見でき自然に触れ合えることができた。

最初はダンゴムシしか捕まえることが出来なかったがそのダンゴムシのオスの違いを先輩に教えてもらい、いつもそこら辺にいるダンゴムシだけ興味を持たた。また里山から学校へ帰る途中の道中でイモムシを捕まえることができた。このイモムシにはたくさんの種類があるらしく今日来てくださった地域の方にイモムシハンドブックを借りて調べる事で

きた。幼少期以来の昆虫採集だったが久しぶりにしたら楽しくて知識もついたので良い観察会にすることができた。

R

今日は、虫取りをしました。

ビオトープには蝶が飛び立ったあとのサナギがありました。

サナギの周りの葉は虫食い穴がたくさんあったので「これを食べて成長したんだ」と感じました。トンボの種類も自分の目で見た以上の種類がいたらしくビオトープの豊かさを改めて感じました。蝶も 14 種類もいたそうです。こういう機会がないとなかなか虫を観察したりしないので来てよかったと思いました。

S

「生き物を見つけよう」

おもしろいと思った虫のスケッチ、場所（虫がどこにいたのか）

注意点：生き物はその場所の気温なので人が 36℃の場合、温度差で死ぬ可能性がある

- ・ちいさなビオトープにも多くの生き物が生息していた。
- ・里山に初めて入ったが、ここではあまり多くの生き物を見る事ができなかった。
- ・ナナフシを昔見たときは大きかったけど、今回はとても小さかった。

T

普段よりも虫の数は、少ないように思いました。専門家の説明で今回、12 種類トンボがでたそうです。私は、2 種類しか、トンボを発見できませんでした。

ビオトープには、14 種類くらい蝶もいるそうです。ビオトープには、色々な生き物がいてとても良い環境なのだと改めて実感しました。

U

今回は、昆虫採取ということだったが、虫取りは、10 年以上やってなかったので、なつかしい気持ちになった。

昔、あみでつかまえたちょうちょうが、あみのせいで羽がボロボロになり死んでしまったことがあり、少しトラウマになったことがあったので、今回はそんなことにならなかいようにやさしくつかまえた。

また、ヤスデを捕まえた。ヤスデは、昨年、高校のときに部室で大量に出てきて、大変、嫌な思い出があった。バルサンをたいてもわいて出て来るあの習性は何だったんですか。

V

具体的に何をすればいいのか分からなかったなので、ほとんど何もできませんでした。なので、次にまた自然観察会をやるときは、何が出来るようにしようと思いました。また、虫

の種類や名前が分かりませんでした。

W

普段見ることのできない虫をたくさん見ることができ、虫あみとカゴを持って少し懐かしい感じがした。

様々な種類の虫を発見することができ、楽しかったです。

アオスジアゲハの青色がとてもきれいでした。

X

よく見た沢山の生き物が見れるなと思った。

環境によって異なった生き物が見れた。

だから色々な環境でそれぞれの生き物があるんだなと改めて思った。ビオトープで12種類ものトンボが見れたってきいてびっくりした。自然を大切にすることが重要だと改めて思った。

Y

前回ビオトープに来たときよりも、草の背丈が伸びていたり、いろいろな発見がありました。スケッチをすることで、今まで観察してきた生き物もじっくりと見ることができ、より細かい所まで見れました。

最後のまとめではトンボだけで12種類ものトンボがいたことが分かって、こんな街の中でも自然がこんなにも生きているということを感じることが出来ました。

Z

さまざまな生き物と触れ合う良い機会となりました。楽しかったです。

AA

今回、ビオトープ、里山で多くの生き物を観察し特徴を知ることが出来た。

観察していると、ダンゴムシがい草（たたみの草）のかれた花の所にまるまって、たくさんひっついて不思議だった。専門家の方がダンゴムシは、もともと日本には、いなかったとおっしゃっていたので、ゴムシは、もともと日本にはいなかったとおっしゃっていたので、日本の草、いと外国産のダンゴムシがコラボしてる感じがおもしろいなと思った。

他にも色々な虫を詳しく観察してみると、普段見かけるときに分からない特徴がたくさん知れて勉強になった。

又、〇〇科の〇〇など細かい分類が虫あることが分かった。

AB

様々な生物とふれあうことができ、自然の中で貴重な経験ができました。

自分な知らない昆虫の生態について知る事ができました。

AC

今日の自然観察会ではビオトープと里山の昆虫をつかまえて観察しました。今日は雨なのか分からないですが虫はあまりいませんでしたが12種類の様々なトンボやウスバカゲロウ、ダンゴムシ、カマキリヤゴ、イシガケチョウがいました。虫を捕まえるのは思いのほか難しかったです。

AD

雨が降りそうだったので湿度が高く、肌寒かった。生き物はあまりいなかったのが、草むらにかくれていた。印象に残ったのはイシガケチョウ、コフキコガネ、アオスジアゲハだ見たことがない生物が多くいたので良かった。

AE

今日は夏の自然観察会ということで、どんな生き物を観察できるか楽しみでした。ビオトープでは、イシガケチョウがどこことなく儂げでしたが、羽化したてにもかかわらず力強く飛んでいて、自然のたくましさ感じさせられました。蝶トンボを見たかったのですが、僕に観察できずに残念でした。特にトンボが好きなので、見分けられるようになりたいです。

AF

今回の自然観察会で公園に行った時はまだ小さいサイズのショウリョウバッタとツチバッタを見ました。里山では、イシガケチョウの幼虫を見て初めて見る種類で驚きました。ビオトープでは今年初のオニヤンマを見かけてサイズをかなり大きくあのサイズだとスズメバチもおそえると聞きビックリしました。

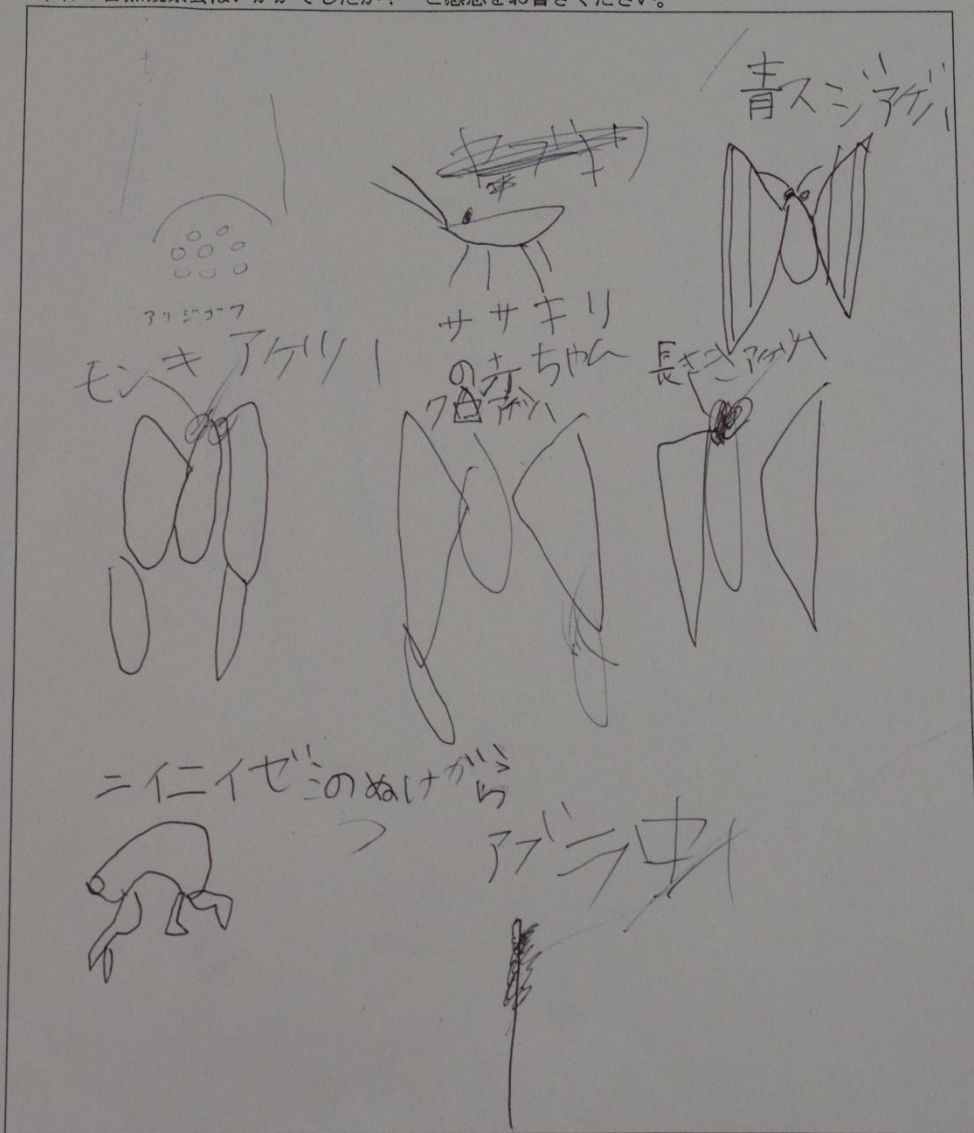
AG

陸生昆虫や幼虫の面白さを知った。イシガケチョウはイヌビワの葉から出る白い液を上手く出ないようにして、きれいに葉だけを食べているということにとっても驚きました。ヤマイモの葉は、食べると粘り気があり、とても美味しかったです。これからは、水中の生き物だけでなく、陸生の生き物にももっと目をくばろうと思いました。

ご氏名
ご住所
年齢 ()

本校の自然観察会に来られたのは何回目ですか？ () 回目

本日の自然観察会はいかがでしたか？ ご感想をお書きください。

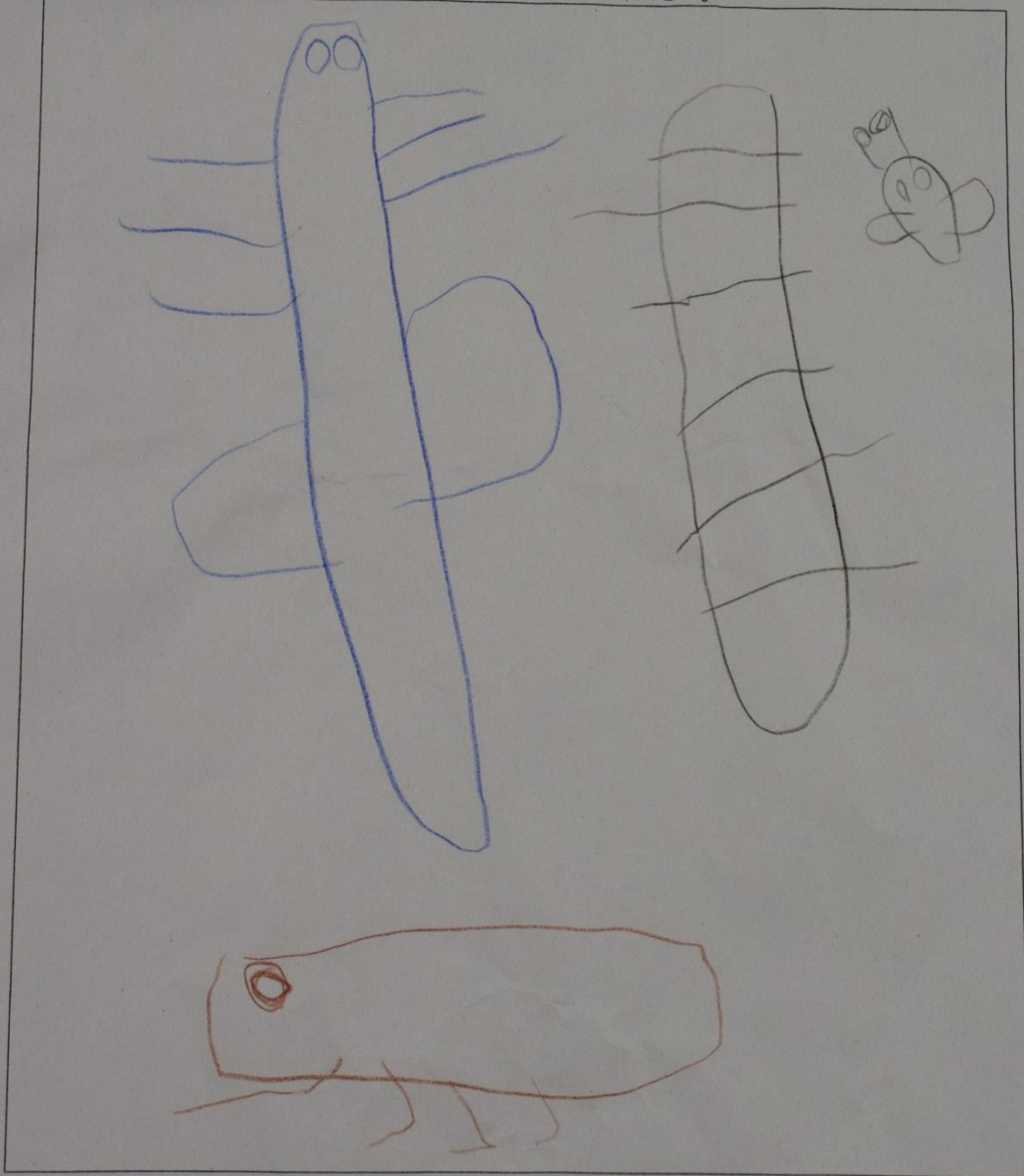


第37回自然観察会アンケート

2015.7.4.SAT

ご氏名 (佐々木)
ご住所 (佐々木)
年齢 ()

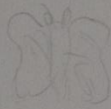
本校の自然観察会に来られたのは何回目ですか? () 回目
本日の自然観察会はいかがでしたか? ご感想をお書きください。



ご氏名 ()
ご住所 ()
年齢 (18)

本校の自然観察会に来られたのは何回目ですか? (2) 回目
本日の自然観察会はいかがでしたか? ご感想をお書きください。

イシガキチョウ



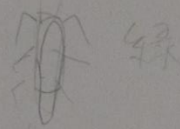
羽が
白と黒

ダンゴムシ

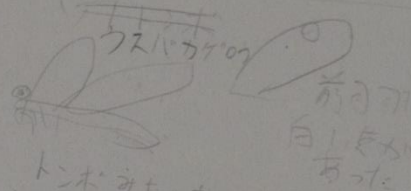


意に大量の
が二列に並ん
でいた。

ナガシ

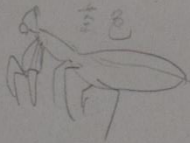


木のよりに
多い



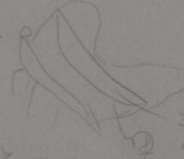
トノボ... トノボ...
アツシコク
の... アツシコクは7
を一度もしない。ウ他の
時に一気にする。
便ひんです。

カマキリ



かっこよくロマンが
あった。

アオスジアケバ



と7...
大きい。

年齢 (18)

本校の自然観察会に来られたのは何回目ですか? (2) 回目

本日の自然観察会はいかがでしたか? ご感想をお書きください。

本日は、生き物を見つけようというテーマで、

ビオトープの夏の生き物とふ、木あおう! という事で、

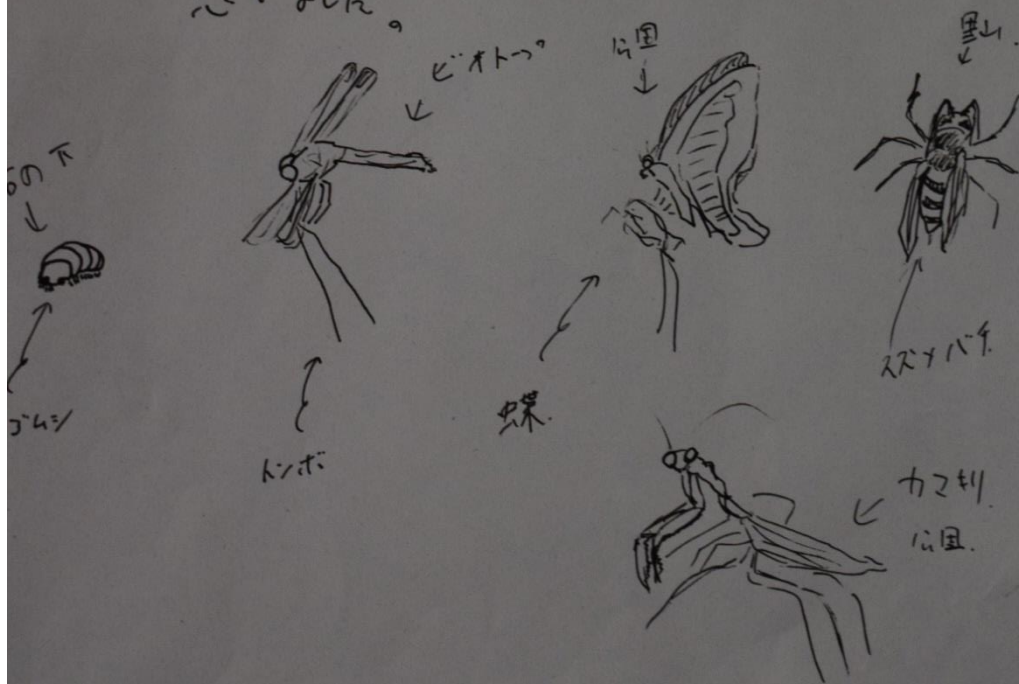
ビオトープや里山、公園に、虫あみと虫かごを持って、行き、
昆虫を採取しました。

ビオトープでは、トンボや、カゴなどが見られました。

里山では、ナナフシや、ダンゴムシなどが見られました。

公園には、草むらに、バッタや、虫葉など、見られました。

身近な戸外に、たくさんの生き物が、いることは、決してあたり前ではないのだ。この生き物たちのいる自然を、守っていく必要を感じました。



ご氏名 ()

ご住所 ()

年齢 (19)

本校の自然観察会に来られたのは何回目ですか? (1) 回目

本日の自然観察会はいかがでしたか? ご感想をお書きください。

ビオトープ



クモ
・落ち葉の上
・香ばしい匂い
・手足が長く体が黒く
て丸かった。



トンボの卵から
・池の葉に付いた
・形がオビに似て
いて、キレイだった。



カタガン
・池の周りの葉の裏
・体の形がキレイ
だった。



糸トビ
・ビオトープの木の葉
・どうも細く黒かった

黒山公園



黒アゲハ
・木の周りを飛んでいた
・羽根が黒と赤
だった。

感想

小学校の頃、よく公園にいらして虫をさがっていたのを思い出した。

今日自然観察をやってみて、トンボやクモなどにもたくさんの種類があり、それぞれの特徴があることを分かった。最初の方は虫をいじめていたが、次第にいろいろな自然観察のことがあった。

第38回福工大ビオトープと里山

自然観察会のお知らせ



主催者

福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会

内容

- 福工大ビオトープや里山の観察を行います。
- 秋の植物や紅葉など、秋色に染まったビオトープ内を一緒に散策したり、草木染めに挑戦してみませんか？

対象

- 地域の皆様
(子供から大人までどなたでもご参加いただけます♪)
- 学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程: 10月17日(土) 9:30~12:00

※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学 A棟 1階 A13教室

(A棟は校門から入って一番奥の建物です)

参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
また、ハチやアブなどが出る危険性がありますので黒い服は避けるようお願いいたします。

お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井宏光

Tel. 092-606-6186

Fax. 092-606-6497

E-mail. sakai@fit.ac.jp



2015年10月17日（土曜日）

【第38自然観察会】

めあて：自然の色を楽しもう

テーマ：草木染めを体験しよう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール

時間 9:30～12:00

大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者 46名

自然案内 田村氏 永松氏 生田氏（(有)クラバード）

【活動内容】

08:30～09:25 メンバー集合、事前準備

09:30～10:00 開会の挨拶

10:00～11:50 草木染め、観察

11:50～12:00 まとめ、解散



2015年10月17日（土曜日）

第38回自然観察会

【学生】

A

今回は、2回目の草木染めとなりました。草木染めをしつつ写真を撮っていました。ピンク色や茶色などさまざまな色に染まっていました。とてもきれいでしたが匂いも独特でした。昨年と違い色が薄く染まったり濃く染まったりして今回は昨年以上に楽しかったです。

B

桜の葉っぱと木を煮た時に出たニオイは強力で後に手に移ってすごかった。きれいに染められてよかったと思う。ピンクや黄色茶色以外に色を変えられるならやってみたい。でも、やっぱりニオイはきつかった。

C

今回の自然観察会も何をしていいか分からず何もできませんでしたが、草木染めとは植物で布を染めることだということが分かりました。自分は自然の事はほとんど分からないので、少しずつでも植物の種類を分かるようにしていこうと思いました。

D

草木染め体験は普段なかなか体験できないことなので体験できて楽しかった。輪ゴムの位置なので模様が変わり、種類によって出る色が違うのが面白かった。ビオトープは秋を感じた。夏と違って、また良い風景だった。

E

去年の反省を生かし、今回は少しましな模様に染めることができた。もうすこし紅葉した里山が見たい！今回は一般の方の参加も多く充実した観察会になったと思う。草花でもとてもキレイに染まり、模様もみなさん色々試されていてもっと染めたくまりました。

F

桜、ピラカンサ、ススキ、セイタカアワダチソウ、4つも良く色が出ていた。私は、桜で染めたが、思ったより茶色が出た。ピラカンサが良い色だった。次、染める時はピラカンサにしたい。

G

ピラカンサで染めてみましたが、淡いピンク色が出てとてもきれいでした。サクラはピン

ク色に染まるかなと勝手に予想していたが、意外にも茶色に染まっており驚きました。専門家の説明を聞き、昔の人が草木染めの楽しさが伝わってきました。次また機会があるのならクサギを使って染めたいです。

H

こう初めて草木染めを体験しました。草木染めのためにビオトープに入り、ススキやセイタカアワダチソウを採ったけれど、採っている間にセイタカアワダチソウの花の部分の黄色は染色できないと知り少し残念でした。ビオトープで草木を採取した後はさっそく草木染めの体験をしました。初めは、緑や茶色など暗い系統の色しかなかったのととても不安でしたが、実際に染めてみるととてもきれいに染色できたのでおもしろかったです。けれどピンク色が濃く染まらなかったのが心残りです。先生に模様のつけ方を習い、より一層楽しめました。

I

日本人という民族は、日々の移ろいの中で様々な事柄に興味を持ち、発展させてきたのだと思った。今回の自然観察会の「染める」ということもまた、先人が編み出したものの1つである。様々な植物を染料として用い、布に色をつけていく。そして、その色は染料によって独特な色、ニオイを奏で、見るものを魅了する。素材によって様々な顔を見る染められたソレは、染料につけた時間、温度、布の素材で全く違う顔を見せる。私が見たあの鮮やかな色は、先人が築き上げてきた結晶なのだろう。

J

今日の自然観察会ではビオトープに行き虫や草木の観察をしたりセイタカアワダチソウをとったりしました。観察終了後とったセイタカアワダチソウとサクラの葉とピラカンサとススキを使って染色しました。ピラカンサはきれいなピンクの色がでました。サクラの葉とススキは茶色っぽい色、セイタカアワダチソウでは黄色がでました。小野さんの話では昔の人は身近にある木や植物で染色していたそうです。そうやっているいろいろな色の名前がつけられたと聞いて勉強になりました。機会があれば家でも身近にある花や植物や木で染色してみたいです。

K

以前もこの自然観察会を体験したんですが、今回のほうが綺麗に染まってうれしかった。サクラは茶色、セイタカアワダチソウは黄緑色と、花からは想像できない色に染まるので予想できずワクワクした。

模様も輪ゴムでしばってみたり、意思をしばってみるなど色だけでない楽しみ方もあって良かった。自分で染めたものだから大切に使いたいと思う。他の染め方もあったらやってみたい。

L

今日は、初めて草木染をした。

身の回りにある身近な植物で染物ができることを知りました。

琵琶や桜の木でもできるとは思わなかったです。

今日自分がした染物は色が薄かったのもうちょっと長くつけてればよかったなと思います。

M

摂取した草のとおりの色ができるわけじゃないってことを自分の目でたしかめることができてよかったです。

今日したやつ以外にもいろんなので染められるみたいでおもしろいなと感じました
ピラカンサがとってもきれいなピンクで染められていてきれいだなぁと思いました。

N

本日の自然観察会で草木染めをやって、色々な植物の色（自然の色）が楽しめました。

去年と同じくピラカンサで染めたが、去年より濃く染まったと思う。色を出すために使われた植物の量が多く、染めるにはたくさん集めなければならないんだなと思った。

専門家の方のお話で、日本の色の名前は植物からきているのが多いとあり、日本人は自然を上手に使い植物たちとつきあってきたんだなと思った。

今回 自然観察会では、4つの植物の色が楽しめたが、他にも色々な植物でそまるとあったので、機会があれば、草木染めをやってみたいと思う。

O

今回の自然観察会では、布の染色をビオトープにある物で行いました。

ピラカンサ+セイタカアワダチソウは予想通りの色が出たんですが、サクラ+ススキは予想と違った色が出ておもしろいと思いました。

P

白い布が、ビオトープにある植物で、染められることにびっくりしました。

私は、白い布をススキで、茶色？に染めました。

ちゃんと色がついて良かったです。

もっと他の植物でもやってみたいと感じました。

Q

草木染めは今回で三回目だけど以前よりもスムーズに進んでいるように

感じられた。

去年は全ての色を混ぜて緑色となったが今年は全ての色を混ぜてその上鉄媒染をしたら深草色になった。

R

今回の自然観察会は、草木染めで、草でも色が染められることを知りました。

ほかにもいろんな草でも色を染めてみたいと思います。

ビオトープは自然がたくさんありとてもよい所だと思います。

S

セイタカアワダチソウをメインにいくつかの種類を

集めることができた。がもう少し自由に好きな草を集めて、どんな色になるかも気になった。

自然のもので色を染めるということは昔では当たり前のことでその体験をすることができてとても良かった。

T

セイタカアワダチソウやススキを多く集めた。

ビオトープは前回よりも草が多くなっていた。

ビオ研の人達は多くの素材を集めていて私達よりも大量に取っていたのにおどろいた。

U

布が色にそまったのですごいと思いました。

V

テントウムシがいた。ヒメカメノコテントウがいた。染色で、思っていたよりも綺麗に染まって驚いた。今回のビオトープは、秋も深まり、ススキの草が大量にありました。セイタカアワダチソウを取ったら、黄色いテントウムシがいて、色が同化していてびっくりしました。これから冬に入り、もっと草木が少なくなるとは思いますが、これからも観察してゆきたいです。

W

今回の自然観察会は去年と違って桜の薫、バイゼン液、ススキがあり、色鮮やかにすることができました。自然観察会で、ハナビロカマキリ、朝鮮カマキリを見つけましたが、ハナビロカマキリは卵を産んだ後なのかとても弱っていました。今回の自然観察会は去年の自然観察会を踏まえて行っていたのでスムーズに進行することができていたので、この調子でできるように努力をしないとイケないかなと思いました。

X

芋、ピラカンサ、セイタカアワダチソウ、桜など普段身近な植物で草木染めを行い、改めて身近な植物について知ることができました。特に、セイタカアワダチソウやピラカンサは独特な色が出て、楽しかったです。次回は、もっと色々な植物で試してみたいです。

Y

初めて草木染めをしました。

ただ染めるだけでなく、下準備(タンパク質でひたす)が重要だということを知りました。今回は、4種類の植物で染めました。私は、今回学習するまで、草木染めというのは花や実で染めるものと思っていたのですが、実際は、草や枝や葉でも染めることができると知り、とても驚きました。とても楽しかったです。

Z

染物が、色がこんなにきれいに染まるとは思いませんでした。今日の危険な生物の説明が危険なだけではない、重要な役割を持っていると説明もあってよかったです。色の名前の由来も調べてみたいです。

AA

ススキや桜(枯)から思いもしない色に染まることにとても驚きました。家でも簡単にできそうなのでやってみたいと思いました。

AB

何回かやってきたのでだいぶ上手に染めることができたと思います。楽しく参加できました。

AC

草木染めのやり方や工夫などがわかりました。私はピラカンサとススキで草木染めをしました。とてもきれいにできたと思います。ピラカンサは、桃色でススキは茶色でした。

AD

ビオトープから草を採取して、草木染めを体験しました。自分の思うように染められなかったのが、またの機会あれば、挑戦したいです。

AE

身の回りの草木で染物ができるということを知り感動しました。きれいに祖持っていてとてもいい体験をすることができました。昔の日本人は、身近な草木で染物を楽しんでいた

と説明を聞いて日本人の感性はすごいなと実感して自分も一度やってみようとおもいます。

A F

本日は自然観察会では草木染めをしました。きれいにピンク色の染まってよかったです。専門家の方の草木染めはすごくきれいに染まっていて特に水色のはきれいだと思いました。びわの葉が赤く染まるのは驚きました。

A G

1年ぶりの草木染めだったが、思いのほかきれいに染まってよかった。

【一般】

A H

池の中にガマ有り(花が咲いている)長さ 10cm

草木染め ・ススキ

- ・セイタカアワダチソウ→赤い黄色になる
- ・桜→桜の香りがするピンクではない

気候も良く、さわやかな秋風で気持ちよく、学ぶことができました。

A I

草木染め！に飛びついてきました。今回はピラカンサとセイタカアワダチソウ+鉄媒染をしました。それぞれに面白い色が出てよかったです。科学が日進の今日に、昔ながらの(自然のまま)工夫を受け継いでゆくのは素晴らしいと思います。今後も色々なテーマで、お誘いください。

A J

よく見てるんですけど名前が分らないの等詳しく説明して頂いて勉強になりました。昆虫はなまえもいろいろいるんで一、草木染めも楽しかったです。やってみようと思います。

A K

- ・草木染め楽しく体験できました。
- ・観察はもう少し的を縛ってガイダンスあればよいかと思います。
- ・ご苦労様でした。ありがとうございます。

A O

草木染めの時ちょっと不安でしたけどどうまくいけてよかったです。草、花、はっぱ、いきものを見れて楽しかったです。

AP

わくわく、楽しみに参加させていただきました。予想通りいろいろと楽しい時間を過ごさせて頂きありがとうございました。草木染めは、初めての体験でしたが奥の深さを教えていただきました。今年は秋が長いとの予報で、毎日の生活ではそう感じて過ごしていましたが、自然はちゃんと季節通りだなと感じました。

AQ

お天気も良く、ゆっくりと楽しい時間を過ごさせていただきました。草木染め、思っていた以上に楽しかったです。準備、運営、皆様お疲れ様でした。ビオトープ写真集、楽しみにしています。

AR

天候に恵まれ、たいへん気持ちのいい観察会でした。本物のビオトープを観察できて、「ビオトープ」の理解が少しできた様に思います。できれば、山の中に入って観察したかったです。草木染めはよくテレビ、雑誌等で見ていましたが、実際に自分の手でやってみて、良い体験になりました。本日は大変ありがとうございました。

AS

お天気が良く自然の中が気持ちいい！生徒さんの若さが新鮮。草木染め体験は、良い体験ができました。お世話お疲れ様。

AT

草木染めの解説がとてもわかりやすく、勉強になりました。小さい子を連れて行っても、大学生の方がいろいろとお世話を下さり、とても助かりました。ありがとうございました。

また参加させてください。

AU

草木染め、もっと種類があってもよかったですね、クサギの実でやってみたかった。

媒染剤もいろいろあると（アルミ、鉄、銅）面白いですよ、

植物の形を生かして染めるたたき染めもアリです。

タデアイを上畑で育ててみては？

里山のほう 1:2000 ぐらいで詳細な植生図を作ってみるとか、秘密基地の探検のノリでいかがでしょうか。

牧の鼻、三苦、美和台、桜山手、三代などに残る小規模樹林と比較してみると、特徴が出ておもしろいと思います

第39回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ

主催者

- 福岡工業大学
- 和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

- 福工大ビオトープや里山の自然観察をします。
- ビオトープや里山にある植物のツルを使って
かご作りを楽しみましょう。

対象

- 地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
- 学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

- 日程: 12月5日(土)9:30~12:00
- ※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物)



参加申し込み

- 参加費無料
- 事前のお申し込みは必要ございません。
- どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

- 当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
- 汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
- ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.: 092-606-6186
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2015年12月5日（土曜日）

【第39自然観察会】

テーマ：昔ながらの文化を体験しよう

めあて：クズカゴを編んでみよう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階 A13 教室 ビオトープ A棟ホール

時間 9:30～12:00

大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者 33名

自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 小野氏（(有) クラバード）

【活動内容】

8:30 ビオ研メンバー集合

9:30～9:45 会長挨拶、説明

9:45～9:50 移動

9:50～10:30 クズ採集

A 9:50～10:00

B 10:10～10:30

10:30～11:40 クズカゴ作り

11:40～12:00 アンケート書き、まとめ、会長挨拶

12:00 終了予定



2015年12月5日（土曜日）

第39回自然観察会

【学生】

A

植物のつるでカゴを作るのは、思っていた以上に難しく、しかし、先人の知恵というものはすごいものでなかなかどうして立派なものが出来上がっていたように思える。また、葛という植物は、どの部分も生活に生かされ、使われてきたのだなと知る事ができました。

B

クズカゴ作りは思うように作れなくて難しかった。
余りか後の形にできなくて苦労した。

C

先人の知恵には本当にすごい。今回クズカゴは上手く作れなかったが、他の人の完成したクズカゴを見るとお洒落で素晴らしかった。
葛の先は食べれて、葛布としても広く使われています。
知らなかった知識が増えてとても興味深かった。

D

クズカゴ作りをしました。組み立てがかなり難しく、先生方からアドバイスももらったりして取り組みました。
楽しむ事ができました。

E

今日はビオトープまでクズを取りに行った。
ビオトープも前回の観察会の時より草木が茶色になっており、生き物も見られなかった。「冬になったんだ」と感じる事ができました。クズにも折れやすかったり、細かったり、色んなものがあるって、触れてみないと分からない体験ができた。クズでカゴを作るのは難しかったけれど、リースも作れたので楽しかった。
また、クズは葉や根も利用価値が高くて、何でもできるんだと感じました。
身近な植物で遊ぶのは、環境教育にも良いだろうと思った。

F

今回のクズカゴ作りは、過去にも数回作ったことがあるが完成はしなかった。過去に造ったクズカゴも完成していなかったため、今回も作れず悔しかった。思ったより楽しめたので良かった。

G

3回目のクズカゴ作りで舌が、編むのに苦戦して上手く作れませんでした。今回は自然観察会に参加するのは最後だと思います。中々経験できないことに取り組めてよい経験になりました。

H

今日のクズカゴあみは、まずクズ採取をしました。硬い素材に感じ、とても苦労しました。次に本題のクズカゴ作りでは、網目に気を付けて、力を込めて作りました。均等に作るのはとても難しかったです。

I

クズのツタでカゴ作りを行った。やはり、カゴ作りは難しく、2回目を作ろうとは思えなかった。また、リースも作ったがあちらは長いもの一つで作れるので時期からしてクズカゴではなくリースの方が良かったのでは？と思った。

J

最初のクズを集めるときに短いものが多く、なかなか長いのが見つからず苦労した。クズの周りの枝をはさみで切るのが地道に面白かった。次に、クズカゴ作りだが、なかなかうまく作れず個性的な失敗作しか作れなかった。最後に皆の個性的なクズカゴを見てセンスのあるものもあり、興味深かった。里山にある素材でこういうものが作れると知り、偉大な里山だなあと感じた。

K

今日の観察会でクズカゴを編んでみて難しかった。昔の人はこういうことをしていたんだなと体験を通じて感じたし、今の生活がどれほど楽か身に染みて感じました。里山と人は強制してきたことがよく分かった。クズは色んな使い方があることを学ぶことが出来た。昔から利用されてきたんだという事に気づけた。

L

今日の自然観察会ではクズを使って籠を作りました。最初にクズを集めて恵、クズは長くて丈夫だとわかった。カゴを作っていると最初の4本の棒が折れてしまったので、作れませんでした。なので、丸井わかを作りました。やはりかなり丈夫な物でないと作るのは難しいと思いました。しかし、立派なカゴを作っ

ている人もいてすごいと思いました。

M

今回、自然観察会に参加して、クズであのようなカゴを作れるとは思っていませんでした。初めは、やり方が分からずになかなかできませんでしたが、徐々に慣れて行って良いものが作る事ができました。冬場でも今回のように色々な観察できるものがあるのだと思いました。また、来年も参加してみたいです。

N

今日の自然観察会を通して里山と人の共生関係について学ぶことが出来ました。人を取り囲む環境が野山から建造物へ変わり、自然を身近に感じにくくなった今、こういった昔ながらの文化を体験するといった行事は意識的に行っていく必要があると考えます。そのうえで、今回のクズカゴ作りは里山を身近に感じる良い機会作りになったと思います。来年こそはカゴを作ります。

O

今年は、写真を撮っていましたが、編めませんでした。すみません。来年は、必ずあめのように心がけていきたいと思います。

P

去年の自然観察会で、クズカゴを作ったときは上手く出来ずカゴの形にならなかったのですが、本日のクズカゴ作りではなんとか、カゴの形になったので良かった。専門家の方のお話で、クズは、根茎葉と逗べてつかえ、人々の役に立つという事が分かり、色々利用されているという事も分かった。クズの名前の由来が地麵であったことを初めて知った。カゴの編み方は、大体一緒だと分かったので、今年、クズ以外の物でカゴを編んでみようと思う。

Q

初めて、クズの採取、そしてカゴ作りをしました。上手く加護を作ることは出来なかったですが、被り物を作りました。クズの吸いがかなり難しかったです。

R

今日の自然観察会では長くてしなやかな葛が必要だったので、ビオトープの端からとるので近くにトゲのある植物があったので採取するのが大変でした。今回のほとんどの人が作るのが上手く、失敗してる人はほとんどいなかったのが良かった

と思いました。

S

今回初めてクズカゴ網を体験した。

葛を採取する際、枝にぐるぐるに巻き付いていて、採るのが難しかった。

私はリースを作った。時間はちゃんとクズカゴを作ろうと思う。

自然にある物を利用して物を作るのはとても楽しいなと思った。

T

事前にクズカゴを編んだが、その時は、ぜんぜん出来なかった。今回はしっかりとカゴの形になったのでうれしかった。

U

今日の自然観察会ではクズを使ってカゴ作りを行いました。クズは昔から人の身近にある植物でクズの芽と根は食べることができしかもイソフラボンという栄養が多く含んでいることが分かりました。また、くきの部分は、繊維と取り出して葛布というものを作れると分かりました。今回作ったものは、カゴとは言えないものだったので次は、カゴと言えるものを作りたいと思います。

V

今回はクズが昔、食用であったり、薬になったり、布になったり、かごになったりと用途が多い植物であることを学びました。

外国では外来生物として害を与えているので、活用することが対策につながるのではないかと思います。

W

クズは曲がりやすいという特性あり、クズカゴを作ることが出来ることが分かりました。

また、クズの先端は食べることができると、クズをクズ布にしてカーテンの代わりになることが分かりました。

クズは人々の生活に役立つと思いました。

X

今日はビオトープ周辺のクズを集めて籠を編みました。

始めはやり方がよく赤らなかつたのですが専門家の方に教えてもらってだんだん容量が分かってきて最終的には何となく籠のような形になりました。クズは昔からいろんなことに使われてきてクズの先は天ぷらにしてもおいしいし、根は葛根湯になり、茎は葛布になって全部使えることが分かりました。

良い体験をしました。

Y

今回はクズカゴ編みをという事で、上手く編めるか少し不安でしたが、上手く編めました。一つ目の時は、どのタイミングで、立体的にすればいいか不安でしたが、一度コツをつかめると、楽しくなり、2個完成しました。

また専門家の方からクズとの付き合いを教えてください、すべてのパーツが何かと使われていて、人と良い付き合いをしてきたことを改めて知りました。

Z

まず私はどれがクズなのかをさがすまでで、どれがそうなのかを見つけることが大変でした。実際に一からクズカゴを作るのはとても難しく、専門家の方々はとてもきれいに作れていて凄いなと思いました。このような自然の中にある植物でカゴを作ることが出来たり、丈夫なので様々なことに使用されているということが分かりました。

今回で一年生最後の観察会でしたが、とても楽しく興味を持つことが出たので二年生から参加していきたいと思いました。

AA

今回は、初めてクズカゴを作りました。意外とかたくて難しかったのですが完成してみると、達成感を味わうことができました。

また、なかなか楽しむことが出来たので大人になり、この経験を生かしてこんどは教える側となりたと思います。来年度の自然観察会も楽しみにしています。お疲れさまでした。

AB

今回は、はじめてクズカゴを作りました。4回目の方や専門家の方のつくるリースやカゴはどれもすばらしいものでした。私も真似てカゴを作ろうとしましたが、なかなか上手くはいかず鍋しきのような形になっていました。けれど、初めてにしては良くできたほうだと思います。来年以降も参加して一流のカゴ職人にあろうと思います。

寒かったけど楽しい思い出になります。作った作品は家にでも飾ろうと思います。まず、葉っぱでデコレーションしたことにより緑があり、茶色のさびれた感もあり上品で芸術的な仕上がりとなっております。

AC

葛がどれか分からなくやまぶどうとまちがえた。

クズカゴはうまくまもとまらず「枝を組み合わせたなにか」になってました。

周りの人はよくできていただけに残念だった。専門家の方の話を聞いて今回のテーマを理解することが出来た。

AD

今まで一番取り組むことが出来たので、自然観察会を楽しめました。
クズカゴを作るときに、最初に固定するのが難しかったけど、後の方はスムーズに作れました。また自然観察会をやりたいと思いました。

AE

自然ととても関わることができた。
木の枝を使ってカゴを作って、良い経験になりました。
カゴ作るは難しかったけれど、慣れたらだんだん楽しくなってきたとても面白かった。

AF

・ビオトープで、寒い中みんなでクズを取り、とにかく寒かった。寒い中みんな外でクズを編んでとても楽しそうだった。クズを編むのも意外と難しくて苦勞した。最終的には、完成できて良かったです。昔ながらの体験ができた気がします。

AG

ツルを取るのは大変でした。トゲが刺さって痛くてたまりませんでした。ですが、クズカゴを作るのはとても楽しくて夢中になっていました。最初は作り方が全く分かりませんでしたが、専門家の方には教えてもらいできるようになって本当に良かったです。

AH

寒い中での自然観察会でしたが、みんな積極的に参加していてクズをまず集めみんなで協力してクズカゴ作りを行うことができた地域の方々とも交流できとてもいい観察会でした。

AI

今日はクズを拾い自分達でクズカゴを作ってみました全くうまくいきませんでした。クズの先っぽはおひたしなどに利用でき根っこは、葛根湯にできるなど新しい知識を得ることができました。このような昔からの知恵を知ることが少ないので今後も積極的に参加したいです。

AJ

クズカゴを編んでみたが鍋しきにしかならなかった。とても難しかった。他の人達はとても上手に作っていたが自分はできなかった。

AK

クズの採取はとても楽しかったがカゴ作りには苦戦した。しかし周りの人達に助けられて

完成させることができました。

AL

クズを使ったカゴ作りはベースが難しく形がいびつになってしまいました。慣れない作業でしたが、自然の物を使って実用的なものを作るというのは、大変よく貴重な体験となりました。人と里山との共生関係を学ぶ良い機会でした。

AM

クズを使ってカゴ作りをしました。採集もしました。色々なところにクズは生えていることが分かりました。カゴ作りはとっても難しかったです。少しずつ教えてもらいながら楽しく出来ました。

AN

今回はクズカゴを編んでみてけっこう編むのが難しかったです。昔からクズカゴはこんなつくり作り方をしていることが知れて良かったです。

【一般】

AO

初めての参加でしたが、とても勉強になりました。
身近な雑草を使って実際に使えるものが出来るのはとても良い経験になりました。

AP

毒虫の説明→良かったです、図が小さかったので、3倍ほどの大きさのものを作って下さい♡
ビオトープに入って、専門家の方に枝や木の実を見ながら「冬の楽しみ」をレクチャーしていただきました。色々な顔があって面白かったです。科学写真絵本もありましたが実際見ると小さくて見落としそうぐらいでした。
草や葉っぱの名前が分からなかったのも、身近な草花の図鑑をもってこれば良かったですお疲れさまでした♡
地域の方とお話が出来て楽しかったです。

AQ

クズカゴを作るのは初めてだったので難しかったです。
最近山で遊んだ経験がない人も多いので、身近な場所で自然を体験できる良い機会だと思います。
小さなお子さんにも楽しんでもらえる観察会だと思いました。

AR

クズカゴ作り、難しかったです。

でも、楽しかった。

クズはどこにでもあるので自宅でも子供たちとチャレンジしたいです。

ありがとうございました。